

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

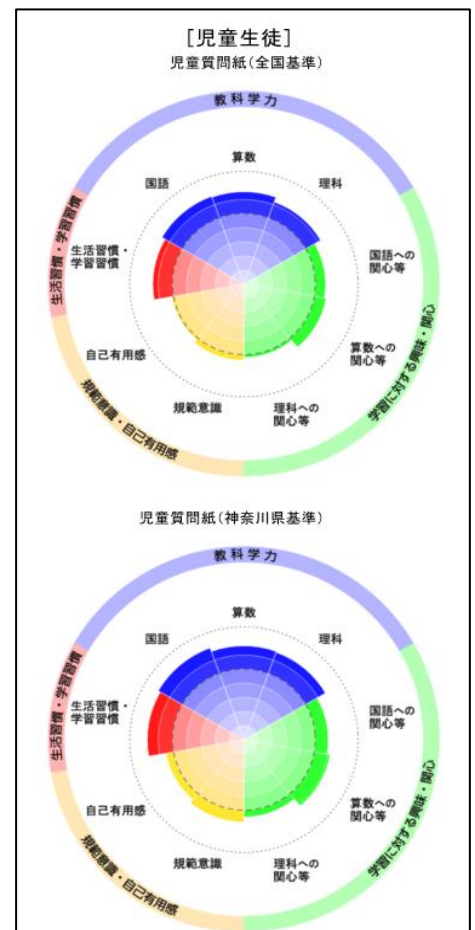
令和4年4月に全国の小学6年生、中学3年生を対象に実施された、「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されました。実施された「国語」「算数」「理科」の3教科について、本校の傾向や課題をお知らせいたします。ご家庭で今一度ご覧になり、今後の学習の参考にしてください。

○本校の調査結果〈学力〉

国 語	平均正答率		
	全体	知識・技能	思考・判断・表現
本 校	78%	82.7%	74.6%
神奈川県	65%	66.8%	63.3%
全 国	65.6%	70.5%	62.0%

算 数	平均正答率		
	全体	知識・技能	思考・判断・表現
本 校	75%	79.1%	68.8%
神奈川県	64%	69.0%	57.5%
全 国	63.2%	68.2%	56.7%

理 科	平均正答率		
	全体	知識・技能	思考・判断・表現
本 校	73%	68.7%	75.1%
神奈川県	63%	61.8%	64.2%
全 国	63.3%	62.5%	63.7%



グラフの見方
 ・上のグラフは全国と、下のグラフは神奈川県との比較。
 ・点線が全国・県の学力・学習状況の結果。各分野の色の濃い部分が本校の学力・学習状況を表している。

○調査結果より

全国、神奈川県の前答率と本校を比較すると全体でおよそ国語は8%、算数は11%、理科は10%高い前答率を示しています。

国語では「知識・技能」で全国平均をおよそ12%、神奈川県平均を16%上回っており、また、「思考・判断・表現」では、全国平均を約13%、神奈川県平均を11%上回っています。

算数では「知識・技能」は、全国平均をおよそ11%、神奈川県平均を10%、「思考・判断・表現」では、全国平均を約11%、神奈川県平均を12%それぞれ上回っています。

理科では「知識・技能」は、全国平均をおよそ6%、神奈川県平均を7%、「思考・判断・表現」では、全国平均を約11%、神奈川県平均を10%以上上回っています。

いずれも高い数値を示しており、学んだ基礎・基本的な知識やそれを活用する力が定着している様子が伺えます。また、学習に対する興味・関心も高く、学習に対して主体性をもって、意欲的に取り組んでいる成果が表れていると考えます。

今後も、基礎・基本的な学習が確実に身に付けられるように、スキルタイム等を活用して反復学習に取り組んだり、友だちとの対話の中から思考力・判断力等を育む授業づくりをしたりすることで、子どもたちの学ば力を高めていきたいと考えています。生活習慣・学習習慣も高い数値を示しています。「早寝早起き」「朝食をしっかり摂る」「運動や休憩する時間を適宜とる」等、睡眠・休養・運動・食事をバランスよく生活に取り入れて、毎日を健康に過ごしている児童が多いことが伺えます。

今後とも家庭と学校が連携して、子どもたちが安心して、楽しく学校生活を送り、学力を高めていけるようにしていきたいと考えています。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

